

資料 4

平成 21 年度広島県大学図書館協議会事業報告

会議

1. 平成 21 年度総会
日時・会場：6 月 29 日 広島国際学院大学立町キャンパス
講演：「広島の名水と水環境」講師：佐々木健氏
参加：24 機関 44 名
2. 幹事館連絡会議
第 1 回 4 月 27 日・第 2 回 6 月 3 日
3. 研修企画委員会
第 1 回 6 月 3 日
4. 共同リポジトリ委員会
第 1 回 7 月 24 日・第 2 回 3 月 10 日
5. 広島県内図書館連絡会議
第 1 回 12 月 15 日

研修会

第 1 回

日時・会場： 10 月 2 日 比治山大学国信教育館
テーマ：「学生協働」
演題：「学生協働によって変わる図書館サービス：山口大学総合図書館の実践」
講師：岡田隆氏（山口大学総合図書館）
事例報告：広島大学・広島修道大学・広島女学院大学
参加：17 機関 34 名

第 2 回

日時・会場： 11 月 20 日 広島経済大学立町キャンパス
テーマ：リテラシー教育
演題：「指導サービスの超演出法ー学生の心を掴む 5 つのコツ」
講師：仁上幸治氏（帝京大学総合教育センター）
事例報告：広島大学・日本赤十字広島看護大学・広島経済大学
参加：16 機関 40 名

第 3 回（国立大学図書館協会中国四国地区協会と共催）

日時・会場： 1 月 21-22 日 広島大学中央図書館
テーマ：情報リテラシー教育担当者研修会
主催：国立大学図書館協会中国四国地区協会
講師：野末俊比古氏（青山学院大学）・上原恵美氏（大阪大学）
参加：18 機関 40 名

事業

1. 創立 40 周年記念祝賀会
日時・会場： 6 月 29 日 メルパルク広島
参加：59 名
2. ホームページ公開（6 月）
3. 共同リポジトリの運営
国立情報学研究所 CSI 委託事業を受託（7 月～2 月）

資料 5

平成21年度総会議事のまとめ

日時 平成21年6月29日(月) 13:30～17:00

場所 広島国際学院大学 立町キャンパス

〒730-0011 広島市中区基町13番7号 Tel.082-212-1651

参加 24大学 43名

1. 開 会 当番館 広島国際学院大学図書館
2. 挨拶 当番館 広島国際学院大学図書館 間田 泰弘館長
代表幹事館 広島大学図書館 佐藤 正樹館長
3. 講演会 講師 佐々木 健 教授(広島国際学院大学)
演題 『広島の名水と水環境』
4. 議長選出 慣例により、今年度総会当番館の広島国際学院大学 間田泰弘館長を選出した。
5. 報 告
 - (1) 平成20年度事業について
代表幹事館の広島大学石井氏より、平成20年度広島県大学図書館協議会事業一覧、及び平成20年度広島県大学図書館協議会のまとめに基づいて報告があり、異議なく承認された。
 - (2) 平成20年度決算及び監査報告について
事務局の広島大学尾崎氏より、平成20年度決算書に基づいて決算報告があった。また、監査館の安田女子大学玉田氏より、監査報告書に基づいて監査報告が行われ、異議なく承認された。
 - (3) 平成20年度広島県内図書館連絡会議について
広島県内図書館連絡会議委員館の広島修道大学常広氏より、平成20年度広島県内図書館連絡会議記録に基づき次のような報告があり、承認された。
 - ・ 大学図書館と公共図書館との現在までの連携事項について
 - ・ 広島市立中央図書館と広島大学、広島市立大学との連携について
 - ・ その他の図書館の連携内容について
 - ・ 今後の連携について
 - ・ 総合目録横断検索(来いぶらりネット)については、平成22年1月の稼働を目指して更新予定であるが、新規プログラムの開発については見送られた。
 - ・ その他、広島大学の蔵書公開について
 - (4) 平成20年度共同リポジトリ委員会報告について
広島経済大学西川氏より、資料に基づき次の報告があった。
 - ・ 委員会は昨年2回開催された。2回目の開催は、平成21年3月6日(広島経済大学)と修正された。
 - ・ 平成20年度、平成21年度CSI委託事業が採択され、昨年度は260万円、本年度は300万円の委託費が認められた。

- ・ 現在12大学が参加しており、さらに参加数が増えるよう依頼があった。

6. 協 議

(1) 平成21年度事業計画(案)について

広島大学石井氏より、平成21年度広島県大学図書館協議会事業計画(案)に基づき、提案説明があり、原案どおり承認された。

(2) 会報印刷の停止とホームページについて

広島大学石井氏より、毎年配布してきた協議会会報の印刷を取りやめ、ホームページによって加盟館への迅速な伝達、活動記録の一般への公開を行うこととしたいとの提案があった。関連して、広島大学尾崎氏より、ホームページの例が紹介された。

あわせて、会報で掲載していたコンテンツは、名簿を除いて、総会の記録、研修会の記録、規約を原則ホームページにて公開するという説明があり、提案資料のとおり承認された。(名簿は電子ファイルで会員館に送付される。)

(3) 平成21年度予算(案)について

広島大学尾崎氏より、広島県大学図書館協議会平成21年度予算書(案)に基づき提案説明があった。臨時事業費の収支に修正報告があり、原案どおり承認された。

(4) 平成21年度役員館の選出について

広島大学藤井氏より、協議会役員館一覧に基づき、以下の説明があり承認された。
幹事館(任期中): 広島大学(代表幹事館)・広島市立大学・広島経済大学・
広島工業大学・広島修道大学・呉工業高等専門学校
監査館: 近畿大学工学部

(5) 平成21年度委員館の選出について

広島大学藤井氏より、協議会役員館一覧に基づき、以下の説明があり承認された。

- ・ 研修企画委員館(任期中): 広島大学・広島市立大学・日本赤十字広島看護大学・
広島経済大学・広島修道大学・広島女学院大学(委員長館)・近畿大学工学部・
呉工業高等専門学校
- ・ 共同リポジトリ委員館(改選): 広島大学(事務局)・広島市立大学・
広島経済大学(委員長館)・広島工業大学・広島国際大学・広島女学院大学
- ・ 広島県内図書館連絡会議委員館(改選)
県立広島大学・広島経済大学・広島修道大学・広島大学(事務局)

(6) 次期当番館について

広島大学藤井氏より、平成22年度総会当番館は、総会会場順次表により、広島工業大学になっているとの提案説明があり、承認された。

次期当番館の広島工業大学森安氏から挨拶があった。

7. 承合事項

(1) 学外者の文献複写等の依頼について

(尾道大学提出)

(提案理由) 尾道大学では学外者に対して、文献複写、相互貸借は行っていないが今後、卒業生を含めて学外者からの依頼が想定される。そこで大学、研究機関の相互

協力の取り決めがあるのか、各大学のみで運営していいのかを伺い、検討の際の参考にしたい。

(関連質問) 各大学では年間どの程度の申込があるか。

(広島大学) 具体的数字は調べていないが、学外者には、卒業生や、名誉教授のように今は籍がないが、母校の図書館だから在籍当時のようなサービスを提供するという場合と、全くの学外者であるが、特別にご寄付いただいた方にフレンドリー利用という方にサービスをするという2つの場合がある。

一般的なものは公共図書館を利用してでも可能であろうが、学術図書などは、大学経由の方が現物の貸借や、文献複写などの利用をしやすいという面もある。しかし、フリーにサービスしているものではない。

市立図書館に求められるようなサービスまではしていないので、大きな負担になっているとは聞いていない。

(広島経済大学) サービスは行っていない。構成員に必要な資料を独自に備えようというのが原則であり、その上で相互協力が成り立っていると考えている。現在のように情報が多量な時代では自館のみでは資料が集めきれないので、相互協力に対するウエイトが大きくなるが、大学の構成員でない人に対してまでそのサービスすることは困難。自館にある資料はどうぞお使い下さいという形で一般公開しているが、他の図書館にまで依頼するサービスはしていない。もともと相互協力というものはそういうものだと考えている。

(2) 備品扱い図書の廃棄について (広島国際学院大学提出)

(提案理由) 当館では書庫が狭隘になっているため、保存、管理に苦慮している。除籍、廃棄の基準はあるが、手続き後の図書の明確な処理方法がない。そこでどのようにされているか伺いたい。

(関連質問) 広島大学の回答に関連して、不要と判断されてから処分までどの程度の期間を要しているか。譲渡先は学生も対象になっているか。

(広島大学)

廃棄までの期間については、東広島キャンパスの中だけでも複数の図書館があるので、決まっていない。正当な手続きが必要で手数はかかるが、去年は4万冊ぐらいを数回にわたって手続きをし、処理した。

学生に対して譲渡の希望は聞いていない。国立大学法人になってからは、島根大学のように生協を通して売却するという例を聞いているが、広島大学は、そこまではしていない。なお、国立大学の時代に備品を廃棄する際、A学部で不要となってもB学部では役立つかもしれないということから、学内で照会をする場合もあるというルールが今も引き継がれている。国立大学間で紹介し、管理換えをしていたルールも継続されている。

8. 閉会の挨拶 幹事館の広島市立大学図書館藤本館長より、閉会の挨拶があった。

資料 6

広島県大学図書館協議会 平成21年度決算書(案)

1 一般会計

収入の部

科目	予算額(円)	決算額(円)	備考
前年度繰越額	172,652	172,652	
会費(平成21年度)	263,300	263,300	
預金利子	236	67	
合計	436,188	436,019	

支出の部

科目	予算額(円)	決算額(円)	備考
A. 事業費			
1. 総会費	40,000	40,000	会場費(広島国際学院大学)、講演謝金
2. 役員会議費	5,000	1,500	お茶(幹事館連絡会議・研修企画委員会)
3. 研修会費	140,000	106,200	別紙明細のとおり
4. HARP補助金	30,000	30,000	
小計	215,000	177,700	
B. 事務費			
1. 通信費	5,000	2,040	会費請求書送付代
2. 消耗品費	10,000	0	
3. 雑費	10,000	2,719	祝電(広島女学院大学宛)
小計	25,000	4,759	
C. 予備費	196,188	0	
D. 翌年度繰越額	0	253,560	
合計	436,188	436,019	

2 臨時事業費(JLA会費還付金の積立)

収入の部

科目	予算額(円)	決算額(円)	備考
前年度繰越額	707,505	707,505	
JLA還付金	32,500	31,150	
預金利子	845	172	
合計	740,850	738,827	

支出の部

科目	予算額(円)	決算額(円)	備考
創立40周年関連事業	300,000	264,771	別紙明細のとおり
予備費	440,850	0	
翌年度繰越額	0	474,056	
合計	740,850	738,827	

3 共同ポジトリ事業費

収入の部

科目	予算額(円)	決算額(円)	備考
前年度繰越額	107,273	107,273	
会費(平成21年度)	360,000	360,000	
協議会よりの補助金	30,000	30,000	
預金利子	111	77	
合計	497,384	497,350	

支出の部

科目	予算額(円)	決算額(円)	備考
サーバ保守費(平成21年度)	252,000	252,000	
振込手数料	840	840	
翌年度繰越額	244,544	244,510	
合計	497,384	497,350	

広島県大学図書館協議会 平成21年度決算書(案)
支出明細書

1 一般会計

A-3 研修会費

摘要	決算額(円)	備考
第1回研修会 会場費	10,000	比治山大学へ
第1回研修会 講師旅費	13,080	山口大学 岡田隆
第2回研修会 会場費	10,000	広島経済大学へ
第2回研修会 講師旅費・謝金	73,120	帝京大学 仁上幸治
合計	106,200	

2 臨時事業費

創立40周年関連事業

摘要	決算額(円)	備考
祝賀会費	408,010	メルパルク広島
記念品作成費	125,685	キャンパスタウントート
通信費	10,572	記念品送料等
消耗品	504	パンフレット
会費	-280,000	5,000円×56名
合計	264,771	

資料 7

監査報告書

金銭出納簿，預金通帳及び関係書類を監査した結果，適正かつ正確であることを認めます。

平成 22 年 4 月 30 日

広島県大学図書館協議会

監査館 近畿大学工学部図書館

館長

白石浩平



資料 8

平成 22 年 6 月 30 日

平成 21 年度共同リポジトリ委員会報告

1. 委員会の開催

第 1 回委員会 平成 21 年 7 月 24 日（広島経済大学図書館）

議 題：①平成 21 年度の活動計画等について

委員会終了後、HARP 勉強会を開催。

第 2 回委員会 平成 22 年 3 月 10 日開催（広島経済大学図書館）

議 題：①平成 21 年度事業報告について

②各大学の状況報告

③CSI 委託事業の第 3 期募集について

④平成 22 年度の共同リポジトリ委員館の活動について

2. 広島県大学共同リポジトリ（HARP）の活動

2009. 4 比治山大学が参加し、参加機関 12 となる。

2009. 7 第 9 回勉強会開催（広島経済大学：15 大学 25 名参加）

平成 20 年度 CSI 委託事業報告交流会（コンテンツ系）で発表（広島市立大）

平成 21 年度 CSI 委託事業契約（受託金額 3,000 千円）

2009. 8 山口県大学図書館協議会で発表（広島女学院大学）

2009. 9 広島文化学園大学で出張勉強会

2009. 10 埼玉県大学図書館協議会で発表（広島文化学園大学）

2009. 11 新潟県大学図書館協議会で発表（広島経済大学）

図書館総合展“DRF ワークショップ”で発表（広島経済大学）

2009. 12 第 10 回勉強会開催（広島市立大学平和研究所：13 大学 26 名が参加）

DRF/Share-Hyogo ワークショップで発表（広島市立大学）

2010. 3 第 11 回勉強会開催（広島経済大学 13 大学 23 名）

3. その他

・第 2 回委員会において、CSI（Cyber Science Infrastructure：最先端学術情報基盤）委託事業の第 3 期募集（平成 22～24 年：3 年間）について HARP として応募するかどうかについて協議した。HARP は、第 2 期の委託事業によってその基盤が整備されたが、広島県大学図書館協議会の事業としては、参加率が 48%と低い。第 3 期の委託事業に応募することによって HARP の活動がより活発になる事、HARP は我が国における共同リポジトリの一つのモデルとして注目されている事などの理由と、新規加入大学のコンテンツ入力の整備をサポートできる環境を維持した方が良いとの判断で、第 3 期 CSI 委託事業に応募することにした。県大図協の加盟館の HARP への積極的な参加をお願いしたい。

資料 9

平成 21 年度広島県内図書館連絡会議 議事録概要

日時：平成 21 年 12 月 15 日（火）

15：00～16：30

場所：広島県立図書館応接室

出席者

委員

広島経済大学図書館部長 西川英治 広島経済大学図書館課長 岡田浩典

広島修道大学図書館次長 常広一信 県立広島大学学術情報センター 課長補佐兼係長 久永真弓

広島市立中央図書館事業課 課長補佐 出原陽子 福山市中央図書館司書 檀上圭子

三次市立図書館係長 行政豊彦 広島県立図書館調査情報課専門員 平田文子

事務局

広島県大学図書館協議会 藤井明 江森早穂

広島県公共図書館協会 黒川隆久 鍛冶美和子 正井さゆり

1 開会

2 議 題

(1) 大学図書館と公共図書館の連携について

◆相互貸借・複写等

- ・ 基本的には市町の図書館の蔵書をできるだけ調べて、どうしてもという場合のみ大学図書館にお願いしている。
- ・ 来いぶらりネット参加館のページに県内大学図書館等の一般公開・利用料等を掲載している。来年情報更新する予定である。参加館の認知度が低いようなので、PRする。
- ・ 複写料金支払いの手続きが煩雑だったり、資料よりも高くつく等あるが、大学としては学内の会計規則の関係上改善は難しい。
- ・ 広島大学と広島市立大学・広島市中央図書館との相互貸借は、徐々に増えてきている。利用者も利用方法を理解してきている。
- ・ 相互貸借は、一部の特殊な例でなくシステムとしてうまくいく方法を考えたほうが良いのか。それとも現状、個別利用で足りているのなら相互利用は必要ないのか。要求度が高まってくれば実施すればいい。要求に答えることがニーズにつながる。
- ・ 県立図書館が大学図書館の本を集めて、県内に送る案もある。今時なので、利用者も早く資料が欲しいのではないか。返却の取りまとめは県立でして、資料を送るのは個別の図書館ということもできるのではないか。
- ・ 広島大学は、県立図書館が県内公共図書館の窓口となることを求めている。
- ・ コンビニに本を届けて市民に本を貸す方法もある。積極的に進める案を出していくのが良い

◆大学図書館の一般利用

- ・ 一般利用者の大学図書館利用は敷居が高いが、公共図書館が利用方法等を丁寧に紹介すると、

それをきっかけに行かれることはある。

- ・ 私立大学図書館は授業料で運営しているので、学生サービスが一番優先である。一般利用はクイックレファレンスくらいなら受け付けるが購入リクエストなどはお断りしている。利用内容に制限があることを知って利用していただきたい。
 - ・ 一般利用者からの申し込みで本が貸し出されてしまい、結局学生が本を読めないこともある。本の利用優先順位についてはルールを決めた方がよい。“学内優先”という理由なら説得力がある。
 - ・ 研究室の資料や特殊な資料などには利用制限がある。事前に問い合わせをしたほうが良い。
 - ・ 広島大学では、一般利用者向けに図書館活用講座を実施している。『図書館利用のしかた』の講座を市広報等に掲載し、多数参加される。自立したユーザーになってもらいたい。
- ◆ 大学図書館と公共図書館の連携
- ・ 連携は積極的に進めたい。今年度広島大学と広島市立図書館では職員の相互研修など交流をする予定。
 - ・ 公共図書館では、利用見込みが少ない本については、購入せず、相互貸借で対応する。洋書・専門書等大学で探すことが多い。

(2) 図書館情報システムの改善について

来いぶらりネット更新について説明

(3) その他

◆ 公共図書館と大学図書館の研修テーマ

- ・ 公共図書館協会では著作権研修の要望が多い。大学図書館協議会では情報リテラシーやビジネスモデル研修等図書館の実務研修を実施している。

◆ 大学図書館と公共図書館での行事連携

- ・ 留学生による講演会等。公共図書館が利便性の良い場所を提供して、大学教授が講師を務める等。

議長：まとめ